



今年度の図書館だよりも今回で最終号となりました。今年度の図書館だよりはいかがでしたでしょうか？

図書館ではただいま春休みの長期貸し出しをしています。ぜひ借りに来てください！

新着図書のご案内

今年度最後の新着図書の紹介です。今年度は現在までに155冊の本が新しく入っています。その内リクエストにより入った本は63冊です。たくさんのリクエストありがとうございました。

<小説・物語>

下町ロケット [4]: ヤタガラス	池井戸 潤 著	小学館
フーガはユーガ	伊坂 幸太郎 著	実業之日本社
宝島	真藤 順丈 著	講談社
あした世界が終わるとしても	櫻木 優平 著	KADOKAWA
ぼぎわんが、来る	澤村 伊智 著	KADOKAWA
フォルトゥナの瞳	百田 尚樹 著	新潮社



映画原作

<美術>

黒板アート甲子園作品集	日学株式会社 総監修	日東書院本社
-------------	------------	--------

<保健>

自閉症ガールひまわりさんの日常	成沢 真介 著	少年写真新聞社
	坂井 聡 監著	
ジハーショーのバナヤン	成沢 真介 文	少年写真新聞社
	森 千夏 絵	
新・アルコールの害	樋口 進 編著	少年写真新聞社

<その他の読み物>

いかに生きべきか	安岡 正篤 著	プレジデント社
運命を創る 新装版	安岡 正篤 著	プレジデント社
空をゆく巨人	川内 有緒 著	集英社

私の一文

PN ラノベ好き

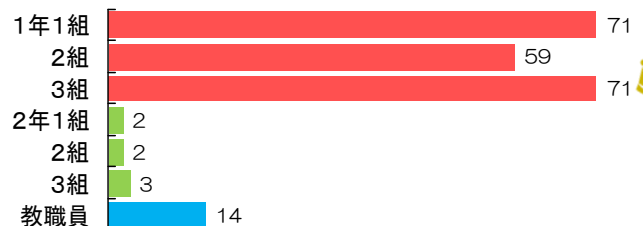
「どうして人は、その思い出だけを残していくんだらう。」(『神様のメモ帳』 杉井光 著/メディアワークス)

このセリフは主人公が、薬物のせいで植物人間になってしまった友達の残してくれた花を見て言ったセリフです。

いなくなってしまう人と一緒に過ごした記憶を思い出すと、悲しく苦しくなります。どんなにその人のことを思い出したところで、その人が帰ってくるわけではありません。いっそ、この記憶を消したくなるかもしれません。

しかし、その人との記憶は決して消えません。その人がいなくなっても想いは残り続けます。人が亡くなるということは、生きる者にとってはその想いをずっと抱えこんでいくことだと思います。

クラス別貸出数(2月)



今年度もたくさんのご利用ありがとうございました。4月号では年間の貸し出し数を掲載予定です。お楽しみに♪